

ヴィラージュ中原 運営推進会議議事録

◇開催日時 令和7年11月25日(火)15:00～16:05

◇開催場所 ヴィラージュ中原 地域交流室

◇出席者 老人クラブ常和会:横田副会長、太田氏 大戸第2地区民児協志村副会長
常陸町会母親クラブ 橋爪会長
中原区地域みまもり支援センター:藤本職員 阿部職員
地域包括支援センターこだなか:小川保健師
よろこび久末:吉田管理者、梅村生活支援コーディネーター(SC)
事務局:福芝施設長、山口 SC

議題

1. 看多機の運営状況及び広報
2. 7年度事業の進捗
3. 地域連携の取組み
4. その他

議事内容

■議題1：看多機の運営状況及び広報

話された内容

吉田管理者より、以下の報告がありました：

- ・ インフルエンザが流行しているが、利用者の中では現在感染者はいない。ただし、家族の感染者は増加傾向
- ・ 利用者の状況：久末本体の登録は23名、中原の登録は14名
- ・ スタッフ人数は増えていないが、利用者は継続利用中
- ・ イベント：ハロウィンと敬老会を開催
- ・ 新入職者：看護師2名が入職。中原との行き来の可能性あり。
- ・ 介護職の採用は引き続き課題

結論

運営状況と広報活動について情報共有がなされました。

■議題2：7年度事業の進捗

話された内容

山口SCより、以下の活動報告がありました：

- ・ 毎月第1木曜日に上小田中南公園で公園体操に参加 ヘルスパートナー約3名参加
- ・ 地域包括支援センターこだなか主催のぐらしサロンや新城サロンに参加
- ・ 宮内公民館で開催されている「みなカフェ」に初参加
- ・ 川崎市医師会館で開催された認知症サポート養成講座に参加し、SC活動について紹介
- ・ 川崎区役所で開催された川崎/幸/中原の合同会議に参加
- ・ 小地域における生活支援体制事業の研修会に参加

個別支援の事例として、以下2件が報告されました：

- ・ 80代女性の認知症が進行しているケース：横田副会長からの連絡を受け、訪問を重ねて包括支援センターにつながった。

- 80代女性と50代息子の二人暮らしのケース：外出困難になっていたが、横田副会長の協力で介護支援につながった。

結論

SCの活動により、地域との連携が進んでいることが確認されました。個別支援においても、地域の協力者との連携が重要であることが示されました。

■議題3：地域連携の取組み

話された内容

以下の地域連携の取組みが報告されました：

- 公開講座の開催：
 - 7月11日：終活エンディングノートの講座（参加者 約10数名）
 - 11月8日：認知症の公開講座（参加者 約30名）
- 地域交流イベント：
 - 10月20日：上小田中保育園との合同運動会 園児21名参加
 - 12月12日：まんまる保育園とのクリスマス交流会予定
 - 12月13日：混声合唱団翠声会によるコンサート予定
 - 1月7日：大谷戸小学校わくわくプラザ児童との新年会予定
- ハロウィンイベント（10月31日）：駄菓子屋と合同開催、169名参加
- 駄菓子屋の実績：35回開催、延べ3,130人来場
- 地域防災の取組み：
 - ヴィラージュ中原として、
 - 大谷戸小学校の備蓄品搬入への立会い・打合せ 12月8日
 - 2月中旬に大谷戸小学校での避難訓練に参加予定
- 中原区社協PR大使「パルるん」の来訪（11月13日）

結論

様々な地域連携の取組みが実施され、今後も継続して行われる予定であることが確認されました。特に子どもたちとの交流や地域防災への参加が重要な取組みとして挙げられています。

■議題4：その他

話された内容

地域包括支援センターこだなか から、新たな取組みについて提案がありました：

- 地域包括支援センターの出張プログラムをヴィラージュ中原にて検討中
- 月1回、1時間から1時間半程度の開催を予定
- 3ヶ月に1回は介護保険制度の説明会や配食サービスの試食会などを企画
- 2月頃から相談会を開始し、4月から定期的なプログラムを実施予定

この提案に対して、以下のような意見や提案が出されました：

- 高齢者に限らず、幅広い相談を受け付ける「よろず相談所」的な機能を持たせる
- 包括支援センターの看板を前面に出さず、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりが重要
- スマホ教室など、高齢者のニーズに合わせたプログラムの検討
- 地域の人々が持つ知識や技術を活かしたコミュニティづくり
- 常設的な相談窓口の検討

結論

新たな出張相談窓口の設置について、以下の点を考慮して検討を進めることになりました：

- 気軽に立ち寄れる雰囲気づくり
- 幅広い相談に対応できる体制の構築
- 地域のニーズに合わせたプログラムの企画

- 社会福祉法人としての公益的事業の一環として位置づけ
- 関係機関との連携強化

まとめ

1. 看多機の運営状況
 - 利用者の継続利用が維持されている
 - 新たな看護師の入職があったが、介護職の採用は引き続き課題
2. 地域連携の取り組み
 - 公開講座や地域交流イベントが多数実施され、好評を得ている
 - 駄菓子屋の運営が地域との接点として機能している
3. 新たな出張相談窓口の検討
 - 地域包括支援センターと連携し、気軽に立ち寄れる相談窓口の設置を検討
 - 地域のニーズに合わせたプログラムの企画と実施を目指す

その他特記事項

- 次回の運営推進会議は令和8年1月27日（火）15時から開催予定
- 12月25日の駄菓子屋でのクリスマスイベントは、常陸町会子供会との連携を検討中